

実践『ペルソナ』通信 Side-*Be*(No. B-21)
「実践女子大生における料理に対する意識」に関する調査結果

実践女子大学人間社会学部 実践「ペルソナ」研究会では、「料理に対する意識」についてのアンケート調査（実践『ペルソナ』通信（No. 21））の結果をもとに、実践女子大生の57%が料理が好きということと、25%の人が普段自炊をするという2点について、さらに深く調査しました。

※実践『ペルソナ』通信 Side-*Be* とは、実践『ペルソナ』通信として公表された調査結果をもとに、写真観察を行い、さらに深く実態を考察した調査レポートです。

調査結果

《朝食・昼食・夕食》

【おしゃれでバランスよい朝食】



【おなかにやさしい朝食】



【具沢山！彩り鮮やかお昼】



【リメイク！肉じゃがコロケ】



【女子力高め！】



【胃袋ガッシリ！家庭的！】



【によきによき☆ジャガイモのニョッキ】



【がっつり系！ポークチャップ】



【～大戸屋にあこがれて～】



【野菜不足でも安心！】



【お上品！ロールキャベツ】



【がっつり！ピーマンの肉詰め】



【クリーミーパ・パ・パスタ！】



【またまた！がっつり！でもバランス良し！】



【洋食屋さんみたい！】



【かわいい！春めくちらし寿司】



《スイーツ》

【網目が難しい！ブルーベリーパイ】



【おいしそうな焼き色！】



【おしゃれ！紅茶マフィン】



【もうパン屋さんの領域…！】



【模様綺麗！マーブルチーズケーキ】



【ただのチョコじゃない…模様まで…!!】



【プロですか!?マカロン】



【もうお店が開店できるレベル!】



今回実際に女子大生の料理の様子を調査してみて、朝食など普段の料理が一品だけではなく、複数品作っている人が多いことがわかった。しかも、偏りがなく野菜や炭水化物、汁物までバランスよく作られていた。

アンケートでは普段自炊をする人が 25%と少なかったにも関わらず、どれも料理の水準が高く、自炊をする人はそれぞれにこだわりがあると考えられる。

調査担当

実践「ペルソナ」研究会

3年 柴田冬香

3年 鈴木綾音

3年 宮藤真夕子